



たいじゅ もり  
大樹の森

4月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



種をまいて 苗を育て 大きな木へ

校長 山下 謙一郎

校庭の花壇の花がきれいに咲き誇り、さわやかな春の訪れが学校にやってきました。令和4年度の不動丸小学校の教育活動のスタートにあたり、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、本校の学校だよりのタイトルである「大樹の森」は、昨年度、児童や保護者の皆様、地域の方々をはじめとした多くの方々から応募していただいたものの中から、児童代表委員会での話し合いを経て決定したものです。学校生活でさまざまな経験を積み重ねていくことを通して、大きな木のようにしっかりと枝葉を伸ばして力強く育ててほしいという願いが込められている素晴らしいタイトルです。しかし、子どもたちが大きく育つためには、様々な支援が必要になってきます。

本校の校歌の歌詞にもあるように、大きな木になるには、まず「種」を蒔かなければなりません。「心の優しい子に育ててほしい」「元気で活発な子に育ててほしい」「自分から進んで取り組める子になってほしい」いろいろな願いを託した「種」を蒔くことでしょう。水や肥料をいっぱいあげて順調に「苗」となって育っていく中で、子どもたちは壁にぶつかる場面が出てきます。そのときに、大人が壁をあらかじめ取り除いてあげるのではなく、その乗り越え方を子どもたち自身が考えていけるように、サポートしていくことが大切です。子どもが悩んだ時は成長のチャンスです。苦悩している姿を見るのは大人として辛いことですが、ここを乗り越えたとき人間としてまた一つ成長していくことができると思います。もちろん、丁寧に見守り続け、乗り越えるのが難しいときは積極的なサポートが必要なことは言うまでもありません。

今年度も不動丸小学校では、様々な行事や活動を考えています。学校、保護者、地域の皆様と連携をとりながら、今の時代を生き抜いていく子どもたちを育てていきたいと強く願っています。引き続き、不動丸小学校をどうぞよろしく願いいたします。